

## 国と民族の自主化を通じた世界の自主化

バングラデシュ・チュチェ思想研究所所長  
シェイク・ラフィクル・イスラム・バブル

金日成・金正日主義は世界の自主化の理論的基礎を科学的に示しています。

金日成・金正日主義が示した世界の自主化の理論的基礎で重要な内容はまず、国と民族が人々の運命開拓の基本単位であるということです。

国と民族は自己の発生発展の全過程で人々の生活に深く根を下し、彼らをもっとも強固な運命共同体に結束する一つの社会的集団、運命開拓の基本単位です。

自己の運命を成功裏に切り開くためには、人々は外部勢力の支配と従属、干渉と圧力に反対し、自主性にもとづいた国際関係を樹立し、国と民族を単位にして国際社会の民主化を促進しなければなりません。

金日成・金正日主義が解明した世界の自主化の理論的基礎の重要な内容はまた、すべての国と民族が国際社会の同等の構成員であるということです。

すべての国と民族は領土と人口数、歴史と伝統、政治体制、経済文化制度の発展程度にかかわらず、自主性をもっています。すべての国と民族は自主的で平等な権利をもった国際社会の同等の構成員です。

自主化された世界ではすべての国と民族が国際社会の同等の構成員として平等と相互尊重にもとづいて国際舞台で自主権を十分に行使します。

金日成・金正日主義が解明した世界の自主化の理論的基礎の他の重要な内容はまた、自主性が公正な国際関係の基礎であるということです。

すべての国と民族が自主性を堅持するときのみ、公正な国際関係を樹立し、維持発展させることができます。

自主を志向する国々は対外関係の実践の中で自主性にもとづいた対外関係だけが自己の自主的發展を保証することができることを切実に体験し、そのために国際法的原則と規則を樹立するための粘り強い努力を傾注してきました。

金日成・金正日主義が解明した世界の自主化の合法的過程にたいする理論の重要な内容はまた、世界の自主化が個々の国と民族の自主化を通じて実現されるということです。

国と民族の自主性を実現するということはすべての国と民族がいかなる大国や支配主義勢力にも屈せず、対外関係で完全な自主性を行使することを意味し

ます。

国と民族の自主性の実現は世界の自主化の実現で重要な問題として提起されています。

世界の自主化は一挙に実現されるのではなく、一定の合法的段階を経過します。言い換えれば、すべての国と民族が自主化される時、地域の自主化が促進され、世界の自主化もより加速化するようになります。

国と民族の自主化は自ずと実現されるものではなく、その構成員の闘争によってのみ成されます。

今、帝国主義、支配主義勢力の強権と専横によって小さな国を無残に踏みこじっている情勢下で個々の国と民族は自主性を生命とし、帝国主義、支配主義の侵略と干渉、強権と専横を粉砕するための闘争を果敢にくり広げ、互いに固く団結して国際舞台で堂々たる自主権を行使しなければなりません。

国と民族の自主性は、政治的自主性の実現、人民経済の自立性と威力の強化、そして自衛的国防力による平和と国の安全守護の過程を通じて実現されます。

地域を自主化するという事はアジア、アフリカ、ヨーロッパおよびラテンアメリカをはじめとしたすべての地域がいかなる大国や支配主義勢力にも従属されることなく自主の道に進むことを意味します。

地域の自主化は自主と正義を志向する地域のすべての人民、進歩的政党と組織の共同の努力と闘争によって合法的になされます。

地域の自主化の主人はほかならぬその地域の全人民と彼らの意思を代表する進歩的政党と組織です。

進歩的政党と組織は国と民族、地域を自主化するための人民の闘争を組織し、指導するだけでなく、地域のすべての進歩的政党、組織と緊密に連携して地域の自主化を目指す闘争を力強くくり広げています。

地域の自主化は闘争を通じてのみ実現されます。地域の自主化は地域のすべての国と民族に有利な条件と環境をつくってくれると同時に、彼らの自主的発展を力強くおし進め、世界の自主化の実現において一つの重要な段階となります。

地域の平和と安全を深刻に脅威している帝国主義者と支配主義者の策動はその地域の人民と進歩的政党、組織の闘争によって破綻されます。

朝鮮民主主義人民共和国の永遠な主席である金日成主席は人類の反帝自主偉業の実現に一生をささげました。

金日成主席は直接創始したチュチェ思想の哲学的原理を民族解放闘争に立派に具現して世界の被抑圧人民が自己の努力と闘争によって真の自由と独立をな

し遂げることができる民族解放運動の指針をもたらしました。

1930年6月、金日成主席は自らの革命的武装力にもとづいた組織的な武装闘争路線とそれに相応した戦略戦術的諸問題を示しました。

金日成主席は歴史上初めて植民地民族解放革命に関する問題を科学的・理論的に解明し、抗日革命闘争を勝利へと導くことにより、民族解放闘争の歴史で輝かしい模範を創造しました。

1968年、キューバのハバナでおこなわれた文化大会では「金日成主席の直接の指導の下に組織展開された朝鮮人民の抗日武装闘争」という題の書類を採択し、それをアジア、アフリカおよびラテンアメリカ人民の反帝民族解放闘争の戦略と戦術にすることに決定しました。

書類の一部分を引用すれば次のとおりです。「抗日武装闘争はそれを実現するための政治綱領と科学的方法を示した百戦百勝の総帥金日成主席の卓越した戦略的・戦術的指導によって勝利した」

金日成主席は世界の被抑圧人民の民族解放闘争を積極的に支持し、彼らが勝利を収めるように激励しました。

金日成主席はモザンビーク、アンゴラ、ジンバブエをはじめとした各国の人民に貴重な経験と重要な指針を与え、帝国主義、植民地主義に反対し、独立をなし遂げるための武装闘争をくり広げるとき、彼らが要請したすべての援助を与えました。

1世紀以上、植民地主義者の搾取と抑圧の下で呻吟していたジンバブエ人民が長い間、武装闘争をくり広げてとうとう独立をなし遂げた直後である1980年4月、朝鮮を訪問したロバート・G・ムガベは金日成主席に次のように申し上げました。「...われわれの要求と正義の偉業が朝鮮人民と朝鮮労働党の正義の偉業と一致するのでわれわれはあなたたちに多くの援助を要請しました。あなたはそれを承認し、約束通りにわれわれに援助を与えました。実に、あなたはわれわれのもっとも親しい友人であり、切り離せない同盟者です。」

金日成主席は自主性のためにたたかう進歩的人民に鼓舞と信念を与え、人類の自主化偉業の実現に特出した寄与をしました。

1991年4月、平壤で開かれた列国議会同盟第85回総会開幕会議でおこなった演説「自由、平和の新しい世界のために」で金日成主席は、すべての国と民族は国際社会の同等の構成員として、自主性を堅持し、力の政策に反対すべきであり、侵略と戦争を防ぐ国際的な共同闘争を力強く展開しなければならないと強調しました。

金日成主席は1981年2月、フランス社会党党首であるフランスア・ミッテラ

ンが朝鮮民主主義人民共和国を訪問したとき、新しい世界戦争を防ぐためにはヨーロッパ諸国がいかなる同盟にも加担することなく、国を自主化、中立化して発展途上諸国が自主性を確固と堅持し、平和をなし遂げ、自主独立国家を建設するよう援助すべきであると述べました。

ミッテランは金日成主席にすべての問題を明哲に分析し評価するそういう貴重な助言を誰からも聞いたことがないと申し上げました。

同年5月、フランス大統領として当選されたミッテランはG7会議で金日成主席は現代の傑出した指導者であると話しました。

終わりに、私は世界の革命的で進歩的な人民に人類の反帝自主偉業に積み上げた金日成主席の功績は限りない驚嘆を呼び起こしていると話したいのです。

私は世界の進歩的人民が金日成・金正日主義を掲げていくならば、資本主義と帝国主義そしてあらゆる搾取と圧迫に反対して勝利することができるだろうと確信します。